

学生相談室だより NO. 13

「学生相談室だより」では、現代の若者に多い問題や悩みをテーマとして取り上げ、わかりやすくお伝えしています。ぜひ、自分の問題解決やこころの発達に役立てていただきたいと思います。今回は、「ギャンブル依存症」をテーマにしました。



ギャンブル依存症(病的賭博)

パチンコ、パチスロ、競馬などのギャンブルが精神医学や心理学で問題になるのは、遊びから逸脱して、ばくだいな借金を背負ってもやめられない“依存”の状態を招くからです。WHO国際疾病分類のICD-10においては「病的賭博」と表現されています。アルコールや薬物依存症のように、身体に直接的に障害を与えるわけではないため、問題性が薄く治療ルートに乗りにくいことが“依存”を強めてしまいます。むしろ、問題として浮上するのは金銭トラブルです。日本のギャンブルは、欧米と比べると小額の遊びとの気持ちから病的賭博に移行する危険性が強く、病的賭博の予備軍は多いと考えられています。

ギャンブル依存症のチェックリスト

次のうち、5つ以上チェックがつくと危険です。

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> ギャンブルにとらわれている | <input type="checkbox"/> ギャンブルで金をすった後、別の日にそれを取りもどしに帰ってくる
ことが多い |
| <input type="checkbox"/> 興奮を得たいがために、掛け金の額を増やしてギャンブルをしたい欲
求がある | <input type="checkbox"/> ギャンブルへののめり込みを隠すために、家族などに嘘をつく |
| <input type="checkbox"/> ギャンブルをすることを抑える、減らす、やめるなどの努力を繰り返し、
成功しなかったことがある | <input type="checkbox"/> ギャンブルの資金を得るために、偽造、詐欺、窃盗などの非合法的
行為に手を染めたことがある |
| <input type="checkbox"/> ギャンブルをするのを減らしたり、またはやめたりすると落ち着かなくな
る、またはいらだつ | <input type="checkbox"/> ギャンブルのために、重要な人間関係、仕事、教育、職業上の機会
を危険にさらし、または失ったことがある |
| <input type="checkbox"/> 問題から逃避する手段として、または不快な気分を解消する手段として
ギャンブルをする | <input type="checkbox"/> ギャンブルによって引き起こされた絶望的な経済状態を免れるた
めに、他人に金を出してくれるよう頼る |

「ビギナーズ・ラック」がギャンブル依存症をつくる？

初心者がたまたまギャンブルに勝ってしまう、いわゆる「ビギナーズ・ラック」の人が、その快感を繰り返したくてギャンブルにのめり込んでしまうという説があります。しかし、これは実証的な裏付けはないようです。心理学実験によると、「人は損を取り戻そうとしてギャンブルにのめり込む」との結果がでています。「勝利の快感」はギャンブル行為の増加に積極的に関与していないようです。

ギャンブル依存症の治療

本人がカウンセリングを希望することは少ないとされています。なぜなら、多くは依存症の自覚がなく、問題性を感じるのは家族の方です。本人に説教して、「今後一切ギャンブルをしない」と約束をさせて借金を立て替えてもギャンブルを続けてしまう。これが依存症です。むしろ、返済することで消費者金融の限度額が増すために新たな借金ができると考えている者もいます。ギャンブル依存症へのアプローチは家族への心理教育、自助グループへの参加、社会的リソース(弁護士やクレジットカウンセリング)など、心理臨床の枠を超えた実践や現実と向かい合う姿勢が求められています。

ギャンブル依存症は治療としてはかなり難しいものです。そのため、予備軍と思われる人は十分気をつけてください。